



1学期の終業式を迎えて ～42日間の夏休みを前に～

本日、終業式を行い、一学期を終えることができました。今回は、体育館に全員が集合すると、かなり密集した状態になることに加えて、このところの気温の上昇も考慮し、クーラーの効いた教室で放送を聞く形で行うこととしました。子どもたちには、夏休みを迎えるにあたって、次のような話をしました。

みなさん、おはようございます。いよいよ明日から夏休みに入ります。ゆっくりと休んだり、何かに挑戦したりする期間にするのも良いと思います。一人一人、思い通りに、意味のあるものにしてほしいと願っています。

夏休みを迎えるにあたり、一学期と同じように夏休み中も成長を続けられるように、これから「四つの言葉」を授けます。この四つ、実は共通点があります。栞田小学校のことをよく知っている人は、途中で分かるかもしれません。ではいきますよ。

まず一点目は、「**自分から進んで**」ということです。自分から進んで良いと思うことにどんどん取り組んでください。お手伝いをすること、家の仕事をする事、もちろん勉強することは良いことなので、自主勉強にとことん取り組むのも良いと思います。まずは、「自分から進んで、良いと思うことをする」ということを大切にしてください。

次に二点目、これは「**自分にブレイキ**」です。夏休みは時間がありますから、つい自分のしたいこと、普段は我慢していること、例えばゲームやスマホを長い時間したくなります。これ以外にも、自分が楽しいと思っても、周りの人はあまり楽しくない、ことや他人に迷惑になっていることをしている場合もあります。そんな時には必ず、「自分にブレイキ」をかけるようにしてください。次に三点目、これは、「**ありがとう**」の心を忘れない、ということ。夏休みはおうちの人と過ごすことが多くなります。いつもは気付かなかったおうちの人の大変さや苦勞が分かるかもしれません。そんな時に「ありがとう」という言葉を伝えると、絆がぐっと深まってみんなが幸せになります。友だちや親戚の人にもこの気持ちを伝えられると良いですね。

最後に四点目、これは「**大丈夫?**」という言葉です。この言葉には相手を思いやる気持ち、相手のことを気遣う気持ちが込められています。相手を大切に思うからこそその言葉です。誰かが苦勞している、苦しんでいる、そんな時に、その人を思いやる気持ちをもっていれば、いざという時に自分も大切にしてもらえます。この言葉一つで、みんなが幸せになると、校長先生は信じています。

四つの言葉、分かりましたか。「自分から進んで」「自分にブレイキ」「ありがとう」「だいじょうぶ」。この言葉の共通点は、校舎に掲げているということです。先生方の目標として挙げている自主・自律、児童会がテーマにしているのが「ありがとう」「だいじょうぶ」という言葉です。この言葉は今年の栞田小学校のテーマでもあります。しっかりと意識をして過ごすごことで、みんなが幸せになる、栞田中が幸せになる、そんな夏休みになることを願っています。

以上、一学期の終わりを迎えるにあたり、校長先生から全校生のみなさんに、四つの言葉を授けました。みなさんの幸せを心から願って、終業式の式辞といたします。

保護者の方々、そして地域の方々のご支援、ご協力のおかげで、一学期を終えることができます。このことに深く感謝を申し上げます。またとともに、夏休み期間中も、引き続き、子どもたちに目をかけ、手をかけ、声をかけていただきますよう、お願いいたします。